

平成 24 年 7 月の実習報告 (1)

7 月は実習生が多かったので、3 回に分けて掲載します。

【9】

期間：平成 24 年 7 月 2 日～3 日 下井草図書館

学校：高井戸中学校 2 年生 4 名

内容：本の修理装備、本の配架、書架整理、返却処理、新刊受入、レファレンス体験（例題を出し、資料を使って回答してもらう）、展示（テーマ決めから、本の選定、飾り付けまで。利用者に好評でした！）など

感想：

書架で迷ってしまい、配架が大変だった。本も重く、思った以上に重労働だった。

図書館では本の展示を行なったり、様々な事を工夫していると思った。

本の修理など、細かい仕事が多いと思った。専門の道具を使い、直すことはとても緊張感のある仕事だった。

利用者の知らないところで、職員は常にたくさんの利用者に本を借りてもらうことを考えているのだと知った。



高井戸中の実習生が準備した展示（場所：下井草図書館）

【10】

期間：平成 24 年 7 月 4 日～10 日 中央図書館

学校：西宮中学校 2 年生 2 名

内容：書架整理、本戻し、予約本探し、お話会、あかちゃんタイム、選定会
見学

おすすめの本：

「ぼくらの心霊スポット」あさのあつこ / 作 学研

五百蔵弘樹（いおくら ひろき）という少年が「キタばあさんの家に幽霊が出る。」といううわさを弟に聞いたのがはじまりで、不思議な事件を体験することになる。その事件と一緒に体験することになった友人、マッキーこと牧田大地と、かっちゃんこと大井川和也の 2 人だった。

日曜日の夜、幽霊屋敷探検をすることになった。弘樹はなにかを感じると、右側の頬がピリピリと痛みがし、危険を感じ、探検をするとき、和也が飼っている犬のタマもつれてくことになった。

探検途中、幽霊が出るとうわさを聞きつけ、やってきたというテレビ局のスタッフと出会ったり、誰かがいたずらで井戸のふちにマネキンのうでがかけられていたり、和也と大地がケンカしたりと、その日は探検どころではなくなってしまう、何も無いまま終わってしまう。

それからまた違う日にリベンジをすることになった。そのリベンジをしたことによって、強盗の犯人と会ってしまい、逃げるができなかったところに、キタばあさんが助けてくれ、なんとか助かったが・・・

【(注：図書館) このあとの文章は、これから本を読む人は知らない方がいいかもしれないので、もっと筋がわかってもいいよ！ ……という人が読んでくださいね。】

キタばあさんは弘樹が出かける 1 時間前にすでに死んでいることを知る。そのため、助けに来てくれたとき、キタばあさんはすでに死んでいて、そのときのキタばあさんと一緒にいたおじさん、南雲さんは弘樹にしか見えていなかった。

「ミッキーマウスの憂鬱」松岡圭祐 / 著 新潮社

わたしのオススメの本を紹介します！題名は「ミッキーマウスの憂鬱」著者は松岡圭祐さんです。わたしが、この本を読もうと思ったきっかけは、なんとと言っても、この題名。

「ディズニーが好きだから」というのもありますが、「ミッキーマウスに憂鬱……それはいかんだろう」という思いの方が強かったです。

主人公は、後藤という人。プロローグの最初にある準社員採用試験で禁句を発言しちゃいます。ゲストの前であんなことを言ってしまったら……大変なことになると思います……。どんな言葉だったかは本を読んでみてください……。この物語は、松岡さんが想像で書いた東京ディズニーリゾートの裏。「バックステージ」が舞台です。でも、実際にこの本、この本に書いてあるとおりではありません。あくまでフィクションです。一瞬、「え。本当にこうなってんの！？」って、信じちゃいますがね。すごい松岡さんの世界に引き込まれますよ。

1つ話すとですね。クラブ 33 という、かなり極秘の場所は「 のとび 9 の中」だとか……。 ってドコだと思いませんか？まあ、本にのってますけど。

さてさて、この本の中ではとんでもなく事件が発生します。とんでもないものをなくしてしまうんです。「とんでもないもの」は、例の後藤の禁句に近いので言えません……。 (ネタバレしてしまったかも) 後藤たちの奮闘ぶりに注目してみてください！

この本。とてもおもしろいのでオススメなのですが……。

夢をこわしたくない方、小さなお子様にはすすめられないです……。でも、「これはフィクション。想像の物語！想像の物語！」と念じて読めば大丈夫だと思います！！

本当におもしろいので、ぜひ読んでみてください！

文庫サイズなので、いつでもどこでも読めますし

【11】

期間：平成 24 年 7 月 4 日～6 日 柿木図書館

学校：井草中学校 2 年生 2 名

内容：返却本戻し、書架整理、お話会、リサイクル本の処理、児童室壁面作成など

感想：

一番楽しかった事は本の除籍です。除籍の仕事は、年数がたって状態が悪くなった本に、「除籍」というはんこをおして、バーコードをけしリサイクルのシールをはる仕事なのですが、その本が新しい持ち主に渡される所が一番うれしかったです。一番つらかった仕事は本の配かと、リクエストの本を探す事です。つらかったけどこの仕事もすごく楽しかったです。図書館の仕事はうごくばかりでつらい事もあったけどすごく楽しかったです。

実習は1日目からとても楽しいという印象が強かったと思います。中でも書架戻しは大変だったが、全てを戻した後の達成感はとても大きかったです。また除籍をするときのおえた時の達成感も同じくらいありました。とてもためになる体験だったと思います。

質問！「杉並区の図書館をどう思いますか？」:

本が東京23区の中で一番あって、状態がとても良いので、図書館につとめてらっしゃる人はとても本の扱いが良いのだなと思いました。

本も多く職員もとても親切でいこいの場となる場所だと思います。

おすすめの本：

「工学部・水柿（みずかき）助教授の日常」森博嗣 / 著 幻冬舎

この本は森博嗣の私生活について書いてある本でもあり、とてもおもしろい本です。この本のジョークがとてもおもしろくて、読んだあとすごく幸せになる本なので、是非読んでみてください。

「スカイ・クロラ」森博嗣 / 著 中央公論新社

この本は戦争がテーマであり、また一死なない「キルドレ」という事をテーマにして書かれた本です。少し内容は難しいのですが、読んだ後、なるほどと思ったり、感動したりする本なので読んでみてください。また、この本は飛行機マニアの人ならさらにとっても楽しめる本です。

「ミッション・インポッシブル」P・バルソッシーニ / 著 徳間書店

みなさんはミッション・インポッシブルを知っていますか。今最新作 Mii : 4 が映画となりました。このミッション・インポッシブルの1の原作がこの本です。映画で本となっているのは翻訳されているのは Mii : 1 だけだと思

うので是非読んでみて下さい。トム・クルーズ主演の第1作品です。

「相棒 season7 下」輿水泰弘ほか / 脚本 碓卯人(いかりうひと) / ノベライズ 朝日新聞出版

杉下右京の相棒が神戸尊となったときの1作です。一番はじめの二人が会うシーンがとてもおもしろく書かれています。エリートの杉下右京と神戸尊がどのように新特命係を作っていくのか読んでみて下さい。

【12】

期間：平成24年7月4日～10日 宮前図書館

学校：西宮中学校2年生 4名

内容：本の配架・書架整理・返却作業・ブッカーかけ・バーコード貼り・児童特集展示準備

感想：

返却本を棚に戻している時に、「本をちゃんと見つけてもらえるように」と思うと頑張ることができた。

気泡ができないようにていねいに貼っていった、ブッカー(かけ)の作業がとても印象的だった。

図書館を利用する人が本を探しやすいように整理するのが大変だった。

人の役に立つことの大切さを実感することができた。

おすすめの本：

「ぼくにつくった魔法のくすり」ロアルド・ダール / 作 宮下嶺夫 / 訳 評論社

「小説鋼の錬金術師 砂礫の大地」荒川弘 / 原作 井上真 / 著 エニックス

「指輪物語 1 旅の仲間」J・R・R・トールキン 瀬田貞二 / 訳 評論社

「ハリー・ポッターと死の秘宝」J・K・ローリング / 作 静山社

「アクセル・ワールド」川原礫 / 著 アスキー・メディアワークス

「灼眼のシャナ」高橋弥七郎 / 著 メディアワークス